

今井 裕人 Imai Hiroto

2021年4月 入学

医療科学研究科

病態運動学分野 内部障害

やすだ医院／  
しもかど腎透析クリニック 勤務

理学療法士



## 大学院で研究を進め、臨床力と研究力の相乗効果を図りたい

母校を卒業後引き続き大学院に進学することに決めました。研究に使用する機材が豊富で、先生方が親身になって様々な視点から内部障害に関する指導をしてくださるので、とても良い環境で学べています。授業では、専門分野以外の疾患についても詳しく学ぶことができ、知識が広がりました。現在、2か所の病院で呼吸器疾患・血液透析患者を担当して研鑽を積みながら、大学院で研究を進めていますが、臨床と研究はつながっているため、知識を蓄える毎に双方でレベルアップできている手ごたえを感じています。研究テーマは血液透析患者の透析量が骨格筋量および筋質に与える影響についてです。

将来は臨床に力を入れるか、研究職として働くか模索中です。

### 1週間のスケジュール

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
月曜日																			
火曜日																			
水曜日																			
木曜日																			
金曜日																			
土曜日																			
日曜日																			

スケジュールの説明:  
■ 橙色: 臨床データ収集  
■ 黄色: 勤務(通勤含)  
■ 黄緑色: 研究  
■ 淡オレンジ: 自宅学習  
■ グリーン: 友人と交流

### コメント:

通勤時間が長いため電車内で文献を読んだりデータの解析を行ったりしています。  
講義の前日に内容を予習しておくことで復習の時間も減らせるので金・土・日曜日の3日間が勉強時間と言えると思います。

小寺 千明 Kotera Chiaki

2021年4月 入学

医療科学研究科

人間活動科学分野 精神活動

兵庫県立西宮病院

リハビリテーション部 勤務

作業療法士



## 理想の患者支援を目指して、大学院で知識を深める

職場では、運動器疾患・脳血管疾患・がん患者を中心に担当し、緩和ケアと排尿ケアの院内チーム会にも所属しています。患者さんが大切にしている生活行為や価値観を尊重した支援ができるようを目指しています。人間作業モデルについて学びを深めるため、こちらの大学院を選びました。2019年度に職業実践力育成プログラム（BP）で学び、とても充実した時間が過ごせたことも決め手になりました。BPで取得した単位の一部は既修得単位として認められ、入学後は働きながらでも研究に余裕を持って取り組めています。

大学院に進学したことでの英語論文を読む習慣や、論文を批判的に読む技術を習得することができ、臨床上で困った際に解決する手段として役立っています。

研究では、職場の先輩や上司に相談してアドバイスを得ながら、時には他職種の方と連携してデータ収集を行っています。

### 1週間のスケジュール



### コメント:

平日はフルタイムで勤務しているので平日の夜や週末に勉強時間を確保できるよう工夫しています。仕事と勉強の両立は大変なこともありますですが、充実しており楽しみながら過ごせています。